# 館報 おみ

5月号
No.674

2023. 5.25（令和５年） 編集と発行／長野県東筑摩郡麻績村公民館
TEL 0263-67-2240

▲こいのぼりをつかまえろ!! ～保育園遠足～（5月11日撮影・シェーンガルテンおみ庭園）関連記事は４面

## 民生児童委員のご挨拶③

民生委員・主任児童委員が昨年十二月に一斉改選となりました。三月号に引き続き、委員の皆さんの自己紹介と抱負を掲載いたします。

高野　由江

担当地区　野間、桑関、高

昨年十二月から民生児童委員を引き継ぎ、四ヵ月が過ぎました。野間、桑関、高を担当する高野です。

何一つわからない私ですが、役場、社協、包括センターの皆さんと相談しつつ、前民生児童委員さん、また、地区や近隣の皆さんの協力とお力添えをいただきながら三年間勤めさせていただきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

塚原　悦子

担当地区　桂、中沢、横辻、菅の沢、西之久保、野田沢

子ども向けの冊子に民生委員とは困りごとや心配ごとを聞いて助けてくれる人や場所を紹介する「つなぎ役」だと書いてありました。

コロナが流行し始めた頃は何もかもがダメ、ダメ！と言われて人とのつながりが少なくなりました。しかし、これからは、マスク規制が緩和され笑顔で皆さんと会話ができるようになりそうです。

「こんなこと話しても」や「大したことじゃないし」なんて思わずに声をかけてください。どんなことでも聞いて「つなぎ」ます。また、お子さんのことで悩んでいる方、ぜひ声をかけてください。一応二人の子どもを育てた経験で「つなぐ」こともできるかと思います。気軽に話してください。「つなぎ」ます。

## おみっこ元気くらぶ放課後子ども教室開校式

五月二十日に、『おみっこ元気くらぶ・放課後子ども教室』の開校式とウォークラリーを行いました。今回は児童十八名、保護者四名の参加がありました。

記念写真を撮ってから三班に分かれて、交流センターから自分たちで育てている下井堀の麦畑までの往復コースを信州大学の学生サークル「ＹＯＵ遊未来」の皆さんと一緒に歩きました。

初夏の自然を散策しながら、六月下旬に刈り取りを迎える麦の成長を見たり、途中のチェックポイントでは、学生さんたちによるゲームや謎解きをしながら進みました。

また、五月二十四日には、放課後子ども教室を行いました。事務局による走り方教室で、六月三日の運動会に向けて走り方の基本を学びました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の規制も緩和されるため、多くの活動を計画しています。コロナ前のような活動にいきなり戻ることは難しいとは思いますが、できる活動をしていきたいと思います。

随時参加者を募集していますので、気になる活動があれば、ぜひ参加してください。

▲楽しい経験ができるといいね

## 聖山風

マイナンバーカードを巡り、個人情報流出につながるトラブルが相次いでいる。マイナカードを活用したサービスで、保険証では別人の医療情報が誤登録されたり、住民票のコンビニ交付で別人の証明書が発行されたり、公金受取口座とのひも付けで他人の口座が登録されるなど多くのトラブルが発生した。

日本はデジタル化が遅れており、国民の利便性が高まるこの制度において、実施することだけを急ぎ、個人情報漏えいリスク等の安全措置をないがしろにしてきたつけが回ってきているのだろうか。

今後二〇二四年秋に健康保険証を廃止してマイナカードに一本化するほか、運転免許証の機能も実装されるとある。利便性と安全性を同じ土俵で考え、時には立ち止まることも必要ではないかと思う。

## 県内外の太公望集う へら鮒（ぶな）釣り大会

▲多くの参加者で賑わう聖湖

第三十三回聖湖へら鮒釣り大会が五月二十一日に開催されました。当日は、好天に恵まれ、午前五時から多くの釣りファンが糸を垂れ腕前を披露していました。今年度の参加者は、新型コロナウイルス感染症に関する規制が緩和されたこともあり、県内外から七十五名ほどの参加者が訪れ、久しぶりに聖湖に活気が戻った大会となりました。

結果は次の通りです。

**一般の部（敬称略）**

優　勝　内島康之（埼玉県）21・10kg
準優勝　岡芹信一（埼玉県）13・80kg
第三位　児玉良太（山之内町）12・60kg
第四位　桜井英夫（松本市）11・60kg
第五位　上原秀夫（須坂市）10・80kg
第六位　小口正敏（塩尻市）9・00kg
第七位　三枝　豊（山形村）8・90kg
第八位　山本　薫（新潟県）8・70kg
第九位　武田　敦（千葉県）8・50kg
第十位　丸山仁史（長野市）8・30kg

**レディースの部**

優　勝　大庭美紀（静岡県）2・30kg

**ジュニアの部**

優　勝　太田依吹（長野市）1・10kg

**大型賞**

優　勝　小林正明（長野市）37・00cm

上位入賞の皆さんおめでとうございます。

## おみごとギャラリー OMIGOTO Gallery

明治町　丸山富雄さん

▲自慢のキャンピングカー

### 軽トラを改装してキャンピングカーに

「外装と電気系統は神戸の業者に依頼、軽トラを運転して大阪まで行き、改装後は車中で一泊して帰って来ました」その後内装は自分でコツコツと。「ホームセンターの材料で一年がかり」だとか。まだ完成ではないらしく「今もあちこち直しているみたい」と奥さんの尚子さん。使い勝手の良さをめざして改装は続いているようです。

▲内装にもさまざまな工夫があり、まだまだ改良が続いているそうです

### いつかは夫婦で出かけたい

もともとキャンプが好きだったという富雄さん、レンタカーを利用して家族で出かけていたのですが、「子どもが成人したので、二人用の物を」軽トラックを改装した車内は二人にちょうど良いサイズです。

「今のところは近場でソロ（一人）キャンプしているだけ。いつかは二人で行きたい」と話していました。

▲取材させていただいた丸山さん夫婦

## おみスクールパートナーズに名称決定

三月から募集していた「麻績村コミュニティスクール運営委員会」の名称ですが、「おみスクールパートナーズ」に決定しました。小中学校の連携を強化し、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちの学習活動をはじめとして、様々な活動の支援を行うパートナーにぴったりの名称だと思います。ご応募いただいた皆様ありがとうございました。

## 小中合同コミュニティスクール始動

五月十六日地域交流センターにて令和五年度おみスクールパートナーズ運営委員会が開催されました。昨年一年かけて計画してきた小中合同でのコミュニティスクールがいよいよ本格始動しました。委員会には小中学校の担当職員とボランティア活動をサポートしていただく地域代表の方々に参集いただきました。始めに両校の校長先生より今年度の学校運営方針の説明があり、それを受けて各部会（学習・キャリア教育部／子どもの居場所部／図書館部／安全・環境整備部）に分かれて今年度できることや、やってみたいことを話し合いました。「プールの清掃活動のお手伝いをしよう」とか、「学校行事のお手伝いはできないか」など積極的な意見が数多く出されました。

「地域の子どもは地域で育てる」を基本理念とし、ますます活発に活動が推進されることを願います。

▲活発な意見交換ができました

## 学校支援ボランティア募集中

おみスクールパートナーズの「学校支援ボランティア」を引き続き募集しています。子供たちの活動のお手伝いを一緒にしませんか。

応募は左のQRコードからできます。ご不明な点は教育委員会（☎六七－四八五八）までご連絡ください。

▲募集用QRコード

## 笑顔満開！保育園遠足

五月十一日に保育園の遠足がありました。今年は、シェーンガルテンおみの庭園に行き、たくさん遊びました。きれいに整備された芝生ひろばで子どもたちは思い思いの遊びをしていました。

シェーンガルテンおみでは、各家庭で眠っていたこいのぼりを集め庭園で泳がせる試みを行っていたため、ひろばに到着した子どもたちは、「大きい」「すごーい」などと大興奮で、準備体操をしたあと園長先生の注意事項を聞いてからさっそくこいのぼりに触れたりしていました。

好天にも恵まれ、風もちょうど良く吹いていたため、こいのぼりは気持ちよさそうに泳いでいました。

▲何色のこいのぼりにしようかな

## 麻績学級が始まりました

五月二十四日に麻績学級の開校式が行われました。開校式にあたって塚原麻績村長から令和五年度の村政について講話がありました。その後「おはなしや麻（あさ）もよう（代表塚原富美江さん）」の皆さんによる詩の読み語りがあり、参加者の皆さんは熱心に聞き入っていました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症に関する規制が緩和されることもあり、麻績学級でも様々な計画をしていきます。多くの村民の皆さんのご参加をお待ちしております。

▲のびやかな声が響き渡りました

# 元気通信!!
## ～今月の小・中学校～

## 麻績小学校

### 体を動かそう週間

五月「体を動かそう週間」が児童会「健康委員会」の企画により実施されました。健康委員会での企画のねらいは、「ふだん休み時間などで体を動かしていない人たちに体を動かす楽しさを知ってもらい、ふだん体を動かしている人たちにも、楽しんでほしいこと」です。

二校時の二十分間の休み時間を利用して、体を動かして遊べるゲームを決めて実施しました。火曜日には校庭にて、全校で「しっぽとり」ゲーム、水曜日には「けいどろ」ゲームをしました！全校縦割りグループでゲームを行い、全力で楽しみました。

楽しく遊べて、体もしっかり動かすことができた企画になりました。

▲体を動かす楽しみを知って元気に学校生活を楽しもう

## 筑北中学校

### 新入部員になったよ

一年　渡邉　花音

私は、芸術部に入りました。小学生の時から入ってみたかった部活だったので、とてもうれしかったです。

部活では、絵を描いたり、タブレットで自分の好きなキャラを描いたりします。私が描く絵は、男の子が多いので、女の子も描けるように練習していきたいです。

先輩方の作品が飾ってあるのを見ましたが、上手すぎて本当に尊敬します。今まで使ったことのない画材がたくさんあるので、どんどん使って今までにない絵を描いていきたいです。

先輩方にたくさん教えてもらいながら、自分でも学んでいきたいと思いました。仲間と色々な事を教え合いながら、一緒に頑張っていきたいです。

### 先輩になって

二年　川久保瑛斗

先輩になって、後輩がこの先輩なら信頼できると思うような存在になりたいと思いました。なので、後輩の見本になったり、後輩が困っていたらすかさず手伝ったりなどの行動を、素早く行えるように毎日頑張っていきたいと思います。

先輩となった気持ちがまだ追いついていませんが、それを目標に先輩の一人として努力していきたいです。

### 平和は、自らの手で守る

三年　關﨑　遥心

今回私たち三年生は、二泊三日の修学旅行で学び楽しみあってきました。

その中でも、私の中でとても記憶に残ることがありました。それは、広島で被爆体験をした切明（きりあけ）千枝子さんの講話です。講話を聞いて、これだけは私たちに伝えたいと感じられる話でした。

それは、「平和は、自らの手で大切に守ること」です。これが一番私の中で残る言葉です。なぜなら平和は、今まであたり前にあると思っていて、平和は、守るものだと考えたことがないからです。

これから私たちは、どう平和を守っていくかを本気で考えていきたいと思いました。

▲東大寺を背景に（修学旅行にて）

▲貴重なお話をいただいた切明さん

## 麻績御厨の鎌倉殿

（その五）

### 麻績御厨十日市場の戦い

鎌倉幕府滅亡直後の南北朝時代の初頭、建武三（一三三六）年二月、中世に宮本と筑北中学校の間にあったと推考される「十日市場」において、北条時興と小笠原信濃守護との戦いがあり、北条党が大敗した。

時興は、系図によれば、二代執権義時の末裔で、鎌倉幕府最後の執権高時の弟である。時興が麻績の地に拠ったのは、北条氏の信濃における中心地盤があった塩田平の近くであり、新補地頭伊賀氏の仕官、縁故の深い寺と神社など、北条党の有力な地盤であって、時興を迎えた豪族がいたからであろうと推考される。

麻績御厨は、この戦いで功績のあった村上信貞が領有することになった。

### 「信濃宮」宗良（むねよし）親王 福満寺に滞在か

親王は、応長元（一三一一）年後醍醐天皇の皇子として生まれる。幼少のころ出家して、二十歳で天台座主となる。尊澄法親王・妙法院宮とも称した。

鎌倉幕府倒幕に加わり、隠岐に流されるが滅亡により還任、還俗して征夷大将軍となる。

朝威回復のため武人として、三十七年あまりにわたり東国各地を転戦した。一番長く根拠として住んでいたのが信濃の大河原（下伊那）であったので「信濃宮」と呼ばれた。正平十（一三五五）年桔梗が原で小笠原との戦いに敗れ、約一年間更級の里（麻績）に滞在する。歌人としても活躍し、「季花集」に姨捨山の月を眺めた歌が多くあり、二度天台座主となっていることから、福満寺に滞在したという説がある。一説には下井堀月夜山の麓に住んでいたともいう。

平成二十五年上皇上皇后両陛下行幸啓されたのも、縁があったのだろうか。

### 大塔合戦と麻績山城守

○大塔合戦について

室町時代の初期応永七（一四〇〇）年、信濃守護で宮方の小笠原長秀と武家方反守護の村上満信を盟主とする信濃武士との戦いがあった。長野市篠ノ井大塔の古城周辺が戦場となったので大塔合戦という。九月二十四日から十月十七日までの戦いであった。

滅亡寸前に、中立の立場をとっていた佐久郡の大井光矩の和睦斡旋により、長秀は京都へ逃れた。

○麻績山城守について

大塔合戦で勝利した村上勢武将十六名の中に「麻績山城守」の名がある。この武将についての史料は無いが、村誌には「鎌倉時代新補地頭として入部した麻績氏（服部）の子孫…」とある。しかし、服部伊賀守は前に記したように、実在について疑わしい武将である。

史料的には根拠のある矢倉村の地頭伊賀氏の系統であると推考される。

### 麻績兵衛太郎清盛について

南北朝時代の建武四（一三三七）年伊賀氏に属して陸奥で戦功をあげている武将である。

この麻績氏について、史学博士井原今朝男氏は、「承久の乱（承久三（一二二一）年）で活躍した麻績六郎の子孫である。」としている。村誌には、「寛元四（一二四六）年新補地頭として入部したとの伝承のある藤原朝臣服部伊賀守の子孫の一族とみられる」とある。長野県史では、「この麻績氏は、伊賀氏が鎌倉時代麻績御厨矢倉村を支配していたとき被官になった者」等と諸説あるが、伊賀氏の一族であった麻績氏が陸奥へ移ったとみられている。

### 諏訪神社祭礼の頭役伊賀氏について

北条氏は諏訪神社との関係が深かった。上社の御射山祭は、鎌倉時代が最も盛んで、信濃国中の地頭や御家人が頭役をつとめ経費負担も莫大であったという。麻績御厨から出役の史料がある。

○永居・阿坂の地頭

諏訪神社に所蔵されている嘉暦四（一三二九）年の「鎌倉幕府下知状」に、「…御射山頭役結番之事…右頭永居阿坂御地頭…」と記されているという。この地頭は伊賀氏であったと推考されている。「永居」「阿坂」の郷名が確認できる最も古い史料であるという。

○村上氏の代官飯野氏（伊賀）の頭役

村上氏の代官飯野氏は室町時代の享徳三（一四五四）年から長享二（一四八八）年の間に、五回諏訪神社祭礼の頭役をつとめている。飯野信宗、宮僧丸、清宗などの名がある。

この時代筑北地方は、村上氏の支配下にあり、村上家臣となった伊賀氏の武士がいたものと推考される。

次月号に続く

［寄稿］信濃史学会会員
飯森　忠幸

# 本の森だより

## おみ図書館

### 図書館お仕事紹介

#### 赤ちゃん相談　訪問

離乳食がテーマになる回に合わせて、村の赤ちゃん相談に、本の貸出と絵本の読み語りに伺っています。
　赤ちゃんが本の感触を知るのはとても大切なこと、ということでまず赤ちゃんが見て触って楽しめる本。それに加えて赤ちゃんに読んであげる本、保護者向けの子育て本や料理本、家事のアイデア本などを取り揃えて訪問しています。
　読み語りが始まると、大きな絵をじっと見つめ、にっこりと絵を指さしたり声をあげて笑ったりと、さまざまな表情を見せてくれます。語りが心に届いていると感じる瞬間です。また、手遊びや、わらべうたを歌いながら親子で体を動かして楽しむこともあります。
　これをきっかけに図書館に足を運んでくださる方も多く、絵本の充実に力を入れています。

▲赤ちゃんは色や形、声に、敏感に反応してくれます

#### 高齢者施設訪問

　村内の四つの施設で定期的にお話会を行っています。
　このほど新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたことに伴って、感染対策に留意しながら通常に近いかたちで訪問できるようになりました。
　この日は、デイサービスセンターみづきの利用者の皆さんと、手遊びや大型紙芝居を楽しんできました。
　今後は状況を見極めながら、皆さんと触れ合う機会を増やしていきたいと考えています。

▲距離をとってマスクを外した活動を再開しました

### 麻績小学校図書館だより

　国語の学習で、図書館のことを学ぶ単元があります。二年生『図書館たんけん』、三年生『図書館たんていだん』、四年生『図書館の達人になろう』です。
　始めは、本がどんなふうに並んでいるのか、経験をもとに考えました。種類ごと十個に分類されていることを知った子どもたちは、探偵さながら、館内地図とラベルを手がかりに、図書館内を回って指定された本の場所を見つけ出しました。
　そして、本のラベルには、場所を探す上でとても大切な情報が入っていることを実感しました。
　今後の読書や調べ学習をする際、自分で必要な情報を収集できる『図書館の達人』が増えてきそうです。

▲ここだ。見つけたよ！

### 作品展示のお知らせ

　七月一日から二十一日まで、絵画教室「まちかどスケッチ」の皆さんの作品展示を行います。
　これに先がけ、五月にはこの教室に所属する小島正子さん（上町在住）の絵画が展示されました。なじみのある松本の街を描いた作品が、たいへん好評でした。

▲小島正子さんの展示のようす（５月展示：図書館入口正面）

### 聖アートエキシビション作品・展示ボランティア募集

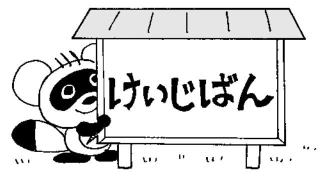
　第十回聖アートエキシビションを、七月二十四日(月)から八月二十七日(日)まで開催します。地域の皆さんの作品と、会場づくりを手伝ってくださる方を募集します。

◎作品募集期間
　七月十二日(水)
　～二十一日(金)
　絵画・写真・木工・金工・紙工・染織・手芸作品など。おみ図書館までお持ちください。

◎展示ボランティア募集
　七月二十二日(土)九時から十五時のご都合のよい時間帯にご協力いただける方。おみ図書館までご連絡ください（電話六七－二五二二）。

### みんなで　そだてる　5月のおみ図書館

| 4月貸し出し数 | |
| --- | --- |
| 貸出冊数一般 | 750冊 |
| 貸出冊数児童 | 840冊 |
| 来館者数一般 | 354人 |
| 来館者数児童 | 715人 |




人権コラム

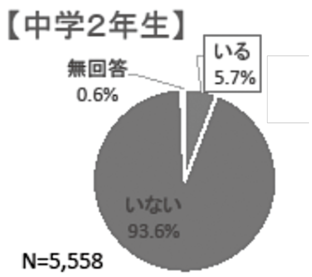
## ヤングケアラーと子どもの権利

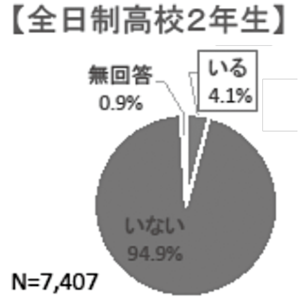
～子どもの権利を擁護し、社会的自立を促すために～

大人の代わりに日常的に家事や家族の世話をし、自分のやりたいことができない十八歳未満の児童生徒のことをヤングケアラーといいます。この問題はこれまで「家族が家族の世話をするのは当たり前」という社会通念によりなかなか見えてきませんでしたが、社会的関心が向けられるようになって顕在化してきました。

二〇二一（令和三）年三月に文部科学省から公表された全国実態調査によれば、中学二年生では十七人に一人、高校二年生では二十四人に一人のヤングケアラーがいる実態が明らかになりました。子どもには「教育を受ける権利」がありますが、ヤングケアラーの場合は過度の家事を負担しなければならず、親の介護を伴う場合などは進学をあきらめざるを得ないケースもあります。これまで十分に聞き取れなかった子どもの「ヘルプ」を拾い上げていくと共に、地域にいるかもしれないと関心をもつことが大事ではないでしょうか。

［寄稿］中信教育事務所
生涯学習課指導主事
佐々木洋一氏




▲出典「ヤングケアラーの支援に向けた福祉・介護・医療・教育連携プロジェクト」第２回会議資料

## 村民体育祭の今後について

区長会や分館長分館主事会議でお知らせし、村民の皆さんもご存じかと思いますが、村民体育祭について、四月のスポーツ推進委員会において、各地の分館から人集めが大変難しいとの声が多く聞かれることから、各分館の人集めをなくして、公民館主体で自由参加型の代替体育イベントを行っていく案が出され、公民館運営審議会において審議し、大会委員長である塚原麻績村長の承認を得て、今年度から今までのような分館対抗での村民体育祭は実施しないこととなりました。

公民館運営審議会では、社会体育事業計画を審議し、今年度三本の柱として、

①競技スポーツの振興（各リーグ戦の復活）
②世代間交流（村民運動会の開催）
③地域スポーツ環境の充実（誰でもスポーツに触れ合える機会の提供）

を目指して活動を推進していくこととなりました。

競技スポーツの振興については、令和二年度から休止していた各リーグ戦について再開していく予定としています。

世代間交流については、令和元年度から開催していなかった村民運動会を柱として、地域コミュニティの活性化と村民の皆さんの健康維持増進を目指します。

地域スポーツ環境の充実については、今年度からホームタウン契約をした松本山雅などのプロスポーツ団体が実施する講師派遣や、ニュースポーツ体験など、村民の皆さんが主体的に参加できる地域のスポーツ環境の充実を目指していきます。

▲ニュースポーツ「クッブ」のようす

## 編集後記

田植え作業がひと段落された方も多いと思いますが、例年になく寒暖差の激しい日が続いています。朝昼の気温差が十度以上ある日が何日もあり、身体がだるく感じる方もいると思います。そんな時は、できるだけ暖かいものを摂るようにして、しっかり睡眠時間をとるようにしましょう。

## 村のあちこち

### お誕生おめでとう

森山悠亜（ゆあ）ちゃん
貴幸・友梨亜
（下田）

### ご冥福を祈る

宮本　忠明　83歳　明治町
市川　達男　90歳　下井堀
山越　豊子　96歳　桑　関
塚原むつみ　92歳　西之久保